

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 24 年 9 月 4 日

審査機関名 株式会社 J A C O C D M

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	工業炉設備の燃料転換 (L P G → L N G)
排出削減事業者名	吉野石膏株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
事業実施場所	吉野石膏株式会社 今治工場 (愛媛県今治市富田新港 1-1-1)
事業の概要	本事業では、焼成工程の焼成炉 1 基及び乾燥炉 2 基の L P G バーナーを L N G 用に改造することにより、C O 2 削減を図る。
排出削減量の計画	2011 年度 : 2,334 t-CO2/年 2012 年度 : 2,334 t-CO2/年 (事業実施期間合計 4,668 t-CO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 003 工業炉の更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイト訪問により確認している。</p> <p>排出削減事業実施場所：吉野石膏株式会社 今治工場 愛媛県今治市富田新港 1-1-1 事業サイトの視察日付：2012年6月29日</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、省エネ及びCO2排出量の削減を目的として実施されていることを、削減事業実施者である、吉野石膏株式会社、担当者への質問等により確認している。</p> <p>2) 本事業は、焼成工程の焼成炉1基及び乾燥炉2基のLPGバーナーをLNG用に改造することにより、CO2削減を図るものである。更新前の焼成炉及び乾燥炉は1997年に設置されており、法定耐用年数9年の2倍の期間を超えていないことを確認している。</p> <p>3) 排出削減事業の投資回収年数については、根拠資料、質問および検算により、12.4年であることを確認している。投資回収年数については純投資額から補助金を差し引いた額をもとに算出していることを確認している。</p> <p>4) 排出削減事業者は、従来より、蛍光灯のLED化や水銀灯の高効率化など工場他の省エネルギー及びCO2削減に取り組んでいる。</p> <p>本事業においても、省エネルギー及びCO2排出削減を目標としていることを、現地視察、質問等により確認している。</p> <p>以上、本排出削減事業は、追加性を有すると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、各事業サイト訪問時のヒアリングにより、事業者が所属する業界団体が自主行動計画に参加していない事を確認している。</p>

排出削減方法論に基づいて実施されること

1) 方法論 003「工業炉の更新」に基づき適用条件を満たしていることを確認している。

適用条件 1 については、既存の焼成炉及び乾燥炉よりもバーナー交換により高効率になっており、適用条件 1 を満たしている。

適用条件 2 については、更新前の焼成炉および乾燥炉が継続して使用可能であったことを、設置年度と法定耐用年数により確認している。

適用条件 3 については、事業実施前後のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量として生産量が把握可能であることを確認している。

2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量の計算方法、モニタリングの方法等が適切である事を、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認している。

3) 本排出削減事業によるリーケージについては、該当する事項が存在しないことを確認している。

4. 特記事項

特になし。